

2023年2月8日

各 位

会 社 名 日本パワーファスニング株式会社  
代表者名 代表取締役社長 安田 正利  
(コード番号 5950 東証スタンダード市場)  
問合せ先 経理部長 金岡 伸郎  
(TEL072-789-9700)

### 業績予想の修正および期末配当予想の修正に関するお知らせ

当社は本日開催の取締役会において、2022年2月14日に公表いたしました2022年12月期通期連結業績予想および期末配当予想について、下記のとおり修正の決議をいたしましたのでお知らせいたします。

#### 記

#### 1. 業績予想数値の修正

(1)2022年12月期通期連結業績予想数値の修正(2022年1月1日～2022年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 5,500	百万円 120	百万円 100	百万円 80	円 銭 5.04
今回修正予想(B)	5,354	85	14	40	2.53
増減額(B-A)	146	35	86	40	
増減率(%)	2.7%	29.2%	86.0%	50.0%	
(ご参考) 前期実績 (2021年12月期)	5,331	93	167	2,138	132.20

#### (2) 修正の理由

2022年12月期通期連結業績予想の売上高は、当社グループの業績に関係の深い建設・住宅業界において新設住宅着工戸数が前年並みの水準にとどまる中、一般建築市場向けの拡販や新規先へのスペックインが計画に届かず、前回予想を2.7%下回る5,354百万円となりました。利益面におきましては、価格転嫁に努めたものの、原材料価格やエネルギー価格の度重なる値上げの影響と、生産体制の再編成による一時的な生産高の減少により前年並みを見込んでいた原価率が上昇したため、営業利益は前回予想を29.2%下回る85百万円にとどまりました。また、当社グループの保有する外貨建資産を年度末時点の為替レートで評価替えしたことを主因に為替差損が95百万円発生したことにより、経常利益は前回予想を86.0%下回る14百万円となりました。親会社株主に帰属する当期純利益は特別利益として投資有価証券売却益を計上したものの、経常利益段階での前回予想比の下振れにより、前回予想を50.0%下回る40百万円となりました。

## 2. 配当予想の修正

### (1) 期末配当予想の修正

	1株当たり年間配当金		
	第2四半期末	期 末	合 計
前回予想(2022年2月14日)		5円00銭	5円00銭
今回修正予想		2円50銭	2円50銭
当期実績	0円00銭		
前期実績 (2021年12月期)	0円00銭	5円00銭	5円00銭

### (2) 修正の理由

当社は株主の皆様への利益還元を経営上の重要課題の一つとして認識し、経営基盤の強化と将来の事業展開に備えた内部留保の充実を図りつつ、業績に応じた安定的な配当を継続して行うことを基本方針としております。

2022年12月期の期末配当金につきましては、1株当たり5円00銭を予定しておりましたが、本日公表の2022年12月期業績予想の修正の状況を勘案し、1株当たり2円50銭に修正させていただきます。

以 上